

一般質問

宮本
議員

○赤潮被害対策について

質 伊万里湾は一九八一年以降19回の赤潮が発生しており、今後赤潮の原因究明と低質改善などの抜本的な対策が叫ばれますが、当面の赤潮対策として、汚泥の除去作業や改善剤の散布に対する助成の検討が必要と考えますが、いかがお考えですか。

水産課長 平戸市では、市の助成もあつて、試験的な事業とも聞いていますが3年くらいかけて散布剤をまいていくとのことなんです。そういったことを含めて、漁協から要望が出ましたら、こういった対応ができるか検討していきたいと考えています。

質 赤潮の発生は、新松浦漁協の存亡、漁民の存亡、地域の存亡に関わる問題であり、赤潮発生の被害を受けない新漁場への開拓など、赤潮対策について市長の決意を伺います。

市長 この被害対策とあわせ大事なことは二つあると思います。養殖業を再生することに係る取り組み。もう一つは、将来にわたって安心して伊万里湾で漁業を営むことができる伊万里湾の環境改善、あるいは赤潮発生の原因と抑制対策をしていくことが重要だと思っています。

市、漁協一体となつて、この問題については速やかな対応をしてまいります。

○体験型旅行生の市内買い物について

質 体験型旅行事業を平成13年度から開始し、平成28年度末まで2億円を超える財政支援をして、当市が先鞭をつけた事業であり、年間3万人もの生徒が市内に民泊していながら、現在、市内の道の駅などでの買い物は、志免中学校1校だけであり、また、鷹島の道の駅での買い物はゼロであります。当市が2億円もつぎ込んで地元で金を落とさない仕組みはおかしいので、早急に改善して頂きたい見解を伺います。

市長 これまで市内に修学旅行生を誘致することに全力を挙げて取り組み、おかげさまで年間3万人程度の修学旅行生を迎え入れているところです。

この修学旅行生の体験とか民泊とかいろいろなことを考えますと、大体1人1万円ぐらいお金がこの松浦に落ちています。この1万円の消費をさらに伸ばすためには、おっしゃるように地元で買い物をして頂くことも必要と思っておりますので、これからは集客を図ることとあわせて地元で消費していただくことについて取り組んでいきたいと思っています。

一般質問

山崎
議員

○星鹿地域振興について

質 ほしか保育園前の変則交差点が大変危険なので何か安全対策をとることができないか。

防災課長 信号機の設置について松浦警察署に尋ねたところ、設置の目安として1日の交通量、人身事故の発生件数、道路の形状等があり、該当しないとのことでした。

この交差点については、交通管理者の松浦警察署では街頭指導の実施、道路管理者である県、市では交差点及び歩行空間へのカラー舗装を実施しています。カーブミラーの設置についても、必要と思われる箇所には済んでいると思われるので、安全対策はできていると考えています。

質 これまで人口が著しく減少している星鹿町に「子育てのできる公営住宅の建設」を訴えてきましたが、何か進捗はありましたか。

都市計画課長 今後の住宅政策においては、定住促進住宅の建設と空き家の有効利用の組み合わせが有効であると捉えており、星鹿地区においては、空き家の有効利用を優先したいと考えています。

質 牟田地区沿岸に消波ブロックが設置してありますが、一部未設置の

ため、その風下にある農業施設の老朽化が激しいので、消波ブロックの追加設置を県へ強く要望してほしい。

農林課長 この箇所は農地海岸で県の農林部の所管する施設です。毎年、星鹿地域自治会連合会からも陳情をいただき、県にも相談していますが事業採択に至っておりません。県としても事業採択のためには、背後地に塩害による作物被害など消波ブロックがないことに起因した、他の地域と比較して被害程度が高いと判断できる資料が少ないことから、未だ設置されていないという見解です。

○水難事故対策について

質 3月議会の折、市政概況報告にて「水難事故に対応できる職員の養成を計画的に行う」と言われましたが、具体的な計画の内容をお示し下さい。

消防長 予定としましては5か年計画をしています。

まず、機材の整備については平成33年度までに潜水器材を9基、個人貸与分のダイビングスーツにつきましては16人分を購入する予定です。

また、潜水隊の数については、配置とあわせ本署に潜水隊を配置する計画で、常時出動可能な体制を確保するためには、両隊にそれぞれ8人、計16人の潜水隊員の養成が必要と考えています。これにより平成33年度には水難救助業務を開始できると思っています。